

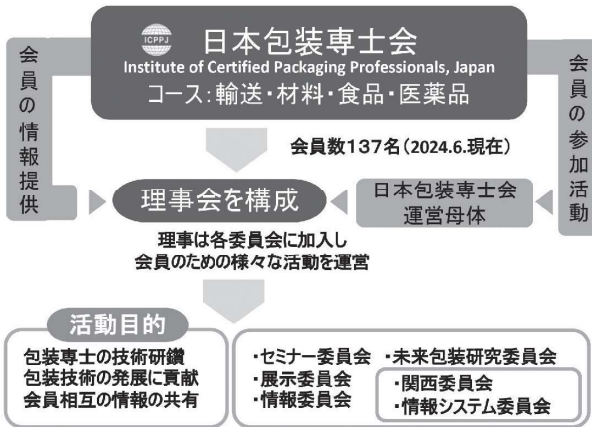


日本包装専士会の紹介

<http://www.housou-senshikai.jp/>

「包装専士」※の有資格者が入会する日本包装専士会は1986年に設立から今年で39年を迎えます。日本包装専士会は包装の専門分野の深化と高度化を図る目的で開講された包装専士講座の趣旨に則り、包装専士の資質の向上と包装技術の発展に貢献する目的を達成するために設立されました。

—日本包装専士会の運営組織—



※「包装専士」とは公益社団法人日本包装技術協会主催の「包装専士講座」において、所定の単位を修得し、研修委員会で適格と認められた者に与えられる資格です。

包装専士講座は、コース別（食品包装・医薬品包装・輸送包装・包装材料）に国内外の技術や理論等の教育を行うプログラムが生まれ、包装技術のエキスパートを養成します。

包装専士会の活動 ～展示・未来包装研究・セミナー・情報システムの各委員会～

・TOKYO PACK 2024でのコラボセミナーで議論を戦わせた協力関係にある大学と引き続き交流を継続しています。日常の講演や情報の共有により、TOKYO PACK 2026に向けて、国立環境研究所も含めて先端情報などの収集や企画を進めています。

・当会の財産である包装の歴史年表の内容・図表の再編集を行ない、更新をすすめています。そして、「包装の未来」も含めて包装専士会全体への情報公開を行うべく、ホームページの構成変更を2025年度に行います。

・当会と技術士包装物流会が主催し、国立環境研究所から講師を迎え、包装廃棄物とリサイクル関連の講演を2025年7月実施で企画しています。他の包装団体の協力も得て包装力の向上に寄与していきます。

包装専士会の活動 ～関西委員会～

関西というロケーションを生かし、独自のセミナーや工場見学を行っています。

Webセミナーの場合、理事会メンバーや新人会員の方にも参加案内をしています。

■関西ミニセミナー（2024年度実績&予定も含む）

- 「軟包装ができるまで：易開封性、電子レンジ対応、クレーン削減事例」 (5月23日)
- 「株式会社エフピコ 西宮選別センター 工場見学」 (9月26日)
- 「食品接触包装材料の衛生性・安全性」 (11月27日)
- 「ISO規格に追補：気候変動への配慮に係わる課題（仮）」 (2025年2月25日)